

[言語事項]

	発音・発声	文字			ローマ字	表記	語句			文語調の文章	文及び文章の構成	言葉遣い	書写								
		仮名	漢字				漢字	漢字	漢字					漢字							
小学校	第1・2学年	(ア) 姿勢、口形などに注意して、きつた発音でこと。	(イ) 平仮名及び片仮名を読み、書くこと。また、仮名で語や文章の中で使うこと。	(イ) 第1学年においては、別表の学年別漢字配当表（以下「学年別漢字配当表」という。）の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書くようにすること。 (イ) 第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読むこと。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書くようにすること。	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>80字</td> <td>80字</td> <td>80字を漸次</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>160字</td> <td>計240字</td> <td>(80字)+160字を漸次</td> </tr> </table>	1	80字	80字	80字を漸次	2	160字	計240字	(80字)+160字を漸次		(ア) 長音、拗（よう）音、促音、撥（はつ）音などの表記ができ、助詞の「は」、「へ」及び「を」を文の中で正しく使うこと。 (イ) 句読点の打ち方や、かぎ（「」）の使い方を理解して文章の中で使うこと。				(ア) 文の中における主語と述語との関係に注意すること。	(ア) 丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて話し、また、敬体で書かれた文章に慣れること。	(ア) 姿勢や用具の持ち方を正しくして丁寧に書くこと。 (イ) 点画の長短、接し方や交わり方などに注意して、筆順に従って文字を正しく書くこと。
	1	80字	80字	80字を漸次																	
	2	160字	計240字	(80字)+160字を漸次																	
第3・4学年	(ア) その場の状況や目的に適切な音量や速さで話すと。		(ア) 第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書くようにすること。	<table border="1"> <tr> <td>3</td> <td>200字</td> <td>計440字</td> <td>(240字)+200字を漸次</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>200字</td> <td>計640字</td> <td>(440字)+200字を漸次</td> </tr> </table>	3	200字	計440字	(240字)+200字を漸次	4	200字	計640字	(440字)+200字を漸次	(イ) 漢字のへん、つくりなどの構成についての知識をもつこと。	(イ) 漢字のへん、つくりなどの構成についての知識をもつこと。 (イ) 第4学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、また、ローマ字で書くこと。	(ア) 表現したり理解したりするために必要な語句を増し、また、語句には性質や役割の上で類別があることを理解すること。	(イ) 表現したり理解したりするために必要な文字や語句について、辞書を利用して調べる方法を理解すること。		(ア) 修飾と被修飾との関係など、文の構成について初歩的な理解をもつこと。 (イ) 文章全体における段落の役割を理解すること。 (イ) 文と文との意味のつながりを考えながら、指示語や接続語を使うこと。	(ア) 相手やその場の状況に応じて丁寧な言葉で話し、また、文章の敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。 (イ) 毛筆を使用して、点画の筆使いや文字の組立て方に注意しながら、文字の形を整えて書くこと。		
3	200字	計440字	(240字)+200字を漸次																		
4	200字	計640字	(440字)+200字を漸次																		
第5・6学年			(ア) 第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書くようにすること。	<table border="1"> <tr> <td>5</td> <td>185字</td> <td>計825字</td> <td>(640字)+185字を漸次</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>181字</td> <td>計1006字</td> <td>(825字)+181字を漸次</td> </tr> </table> <p><計1006字></p>	5	185字	計825字	(640字)+185字を漸次	6	181字	計1006字	(825字)+181字を漸次	(イ) 漢字の由来、特質などについて理解すること。	(イ) 漢字の由来、特質などについて理解すること。 (イ) 送りがなや仮名遣いについて注意して正しく書くこと。	(ア) 語句に関する類別の理解を深めること。 (イ) 語句の構成、変化などについての理解を深め、また、語句の由来などに関心をもつこと。	(イ) 表現したり理解したりするために必要な語句について、辞書を利用して調べる習慣を付けること。	(イ) 語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつこと。	(ア) 易しい文語調の文章を音読し、文語の調子に親しむこと。	(ア) 日常よく使われる敬語の使い方について理解すること。 (イ) 共通語と方言の違いを理解し、また、必要に応じて共通語で話すこと。	(ア) 文字の形、大きさ、配列などを理解して、読みやすく書くこと。 (イ) 毛筆を使用して、点画の筆使いや文字の組立て方を理解しながら、文字の形を整えて書くこと。 (イ) 毛筆を使用して、字配りよく書くこと。	
5	185字	計825字	(640字)+185字を漸次																		
6	181字	計1006字	(825字)+181字を漸次																		

	音声	文字			漢字	漢字	漢字	漢字	漢字	漢字	漢字	漢字	漢字									
		漢字	漢字	漢字										漢字	漢字	漢字	漢字					
中学校	第1学年	ア 話す速度や音量、言葉の調子や間とりなどに注意すること。	ア 小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表（以下「学年別漢字配当表」という。）に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち250字程度から300字程度までの漢字を読むこと。 イ 学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うこと。	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>(1006字)+常用漢字のうち250-300</td> <td>900字程度</td> </tr> </table>	1	(1006字)+常用漢字のうち250-300	900字程度							イ 語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意すること。	ウ 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、話や文章の中の語彙（い）について関心をもつこと。	オ 単語の類別について理解し、指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句などに注意すること。	(内容の取扱い) 古典としての古文や漢文を理解する基礎を養い古典に親しむ態度を育てるとともに、我が国の文化や伝統について関心を深めるようにすること。	エ 話や文章の中の段落の役割や文と文との接続関係などを考えること。	カ 話し言葉と書き言葉との違いについて理解し、適切に使うこと。 イ 漢字の楷（かい）書とそれに調和した仮名に注意して書き、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書くこと。	ア 字形を整え、文字の大きさ、配列・配置に気を付けて書くこと。		
	1	(1006字)+常用漢字のうち250-300	900字程度																			
第2・3学年	ア 音声の働きや仕組みについて関心をもち、理解を深めること。	(第2学年) 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から350字程度までの漢字を読むこと。 (第3学年) 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むこと。 (第2学年) 学年別漢字配当表の漢字のうち950字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 (第3学年) 学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと。	<table border="1"> <tr> <td>2</td> <td>(第1学年)+常用漢字のうち300-350</td> <td>950字程度</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>(第2学年)+その他の常用漢字</td> <td>1006字(使い慣れる)</td> </tr> </table> <p><常用漢字の大体></p>	2	(第1学年)+常用漢字のうち300-350	950字程度	3	(第2学年)+その他の常用漢字	1006字(使い慣れる)							イ 慣用句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句の意味や用法に注意すること。	ウ 抽象的な概念などを表す多様な語句についての理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにすること。	カ 単語の活用について理解し、助詞や助動詞などの働きに注意すること。		エ 相手や目的に応じて話や文章の形態や展開の違いがあることに気付くこと。 オ 文の中の文の成分の順序や照応、文の組立てなどについて考えること。	キ 共通語と方言の果たす役割などについて理解するとともに、敬語を深め生活の中で適切に使えるようにすること。	ア 字形、文字の大きさ、配列・配置などに配慮し、目的や必要に応じて調和よく書くこと。 イ 漢字の楷書や行書とそれらに調和した仮名の書き方を理解して書くとともに、読みやすく書くこと。
2	(第1学年)+常用漢字のうち300-350	950字程度																				
3	(第2学年)+その他の常用漢字	1006字(使い慣れる)																				

	国語総合	文字			漢字	漢字	漢字	漢字	漢字	漢字	漢字	漢字	漢字				
		漢字	漢字	漢字										漢字	漢字	漢字	漢字
高等学校	国語総合	ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。		<table border="1"> <tr> <td>読み</td> <td>書き</td> </tr> </table>	読み	書き							オ 国語の成り立ちや特質、言語の役割を理解すること。	古文、漢文の基本的なきまり	エ 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。	イ 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。	ア 目的や場に応じた話し方や言葉遣いなどを身に付けること。
	読み	書き															
国語表現	常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようにする		<table border="1"> <tr> <td>常用漢字の読みに慣れる(1945字)</td> <td>主な常用漢字</td> </tr> </table>	常用漢字の読みに慣れる(1945字)	主な常用漢字							国語の表現の特色、語句や語彙の成り立ち及び言語の役割について理解を深めること。		古典の表現法、語句、語彙なども関連的に扱うようにする。また、現代社会における言語生活の在り方や言語表現の役割について考えさせるようにする。	発声の仕方、話す速度、文章の形式なども扱うようにする。		
常用漢字の読みに慣れる(1945字)	主な常用漢字																